

# 令和7年度 第1回 地域クラブ活動推進に係る地域ミーティング 記録

令和7年5月24日（土）

川口市立青木会館3階 会議室

## 1 開会

挨拶（教育政策室長）

- ・先週、国の有識者会議の最終取りまとめが公表され、令和13年までに休日の活動を地域クラブへ。川口市としても令和9年9月までに休日の部活動を停止し、地域クラブへ移行する。
- ・多感な時期に経験した活動は生涯をささえる経験となる。少子化が進む10年後、20年後、今のように子供は活動できないだろう。皆様と共に、将来の子供たちの活動を支えていきたい。

## 2 事務局説明

資料に基づき説明

## 3 モデル事業報告

### (1) 川口ガールズ（女子軟式野球）

資料に基づき説明

質疑応答

- ・道具はどのように対応しているか。  
→チームである程度保有している。

### (2) 川口アスリートクラブ（陸上競技）

資料に基づき説明

- ・子供たちの活動時間を確保するため、拠点を北と南の2ヶ所に設置。
- ・6-8時、部活より細かく専門的にできる。
- ・クラブのジャージ、Tシャツ着用。
- ・在家小学校、青木町公園、舎人公園などで練習。
- ・部活アプリ、便利だが周知面で課題。
- ・本来は中体連さんと一緒に練習したかったができず、モデル事業としての効果について比較検討ができなかった。
- ・地域展開について、市教育委員会による生徒への周知がより一層必要になるのではないか。

質疑応答

- ・地域展開後もボランティアで良いと考えているか。  
→（事務局）現在、教員がボランティアで指導しているが、それは本人の意向によるもの。  
教員でも届を出し謝金を受け取ることが可能。

### (3) 新郷コミュニティオーケストラ（オーケストラ）

資料に基づき説明

- ・子供たちのために始めた活動であったが、指導者にとっても気づきのある、充実した活動となった。
- ・課題として、子供たちに楽器を貸し出したが、マンションなどに住んでいる生徒は近隣を気にし

て練習があまりできないケースがあった。事後に知ったため、ミュートの準備などの対応ができなかった。

- ・会場によって演奏可否の制約があるため、会場確保という面では課題がある。今後の学校開放に期待している。
- ・メンバー、大半が川口市在住。鋳物の町、キューポラの町と言われて育ってきたが、「名物」は薄れてきたところもある。川口市を皆さんと一緒に盛り上げていきたい。

#### (4) スポーツ・サンクチュアリ・川口（ニュースポーツ）

資料に基づき説明

- ・子供達からは今後の部活動地域展開を見据え、親の負担を考えた大人目線とも言える意見が出てきている。
- ・場所の確保が大きな課題。今後関係各所との連携が必要になると考えられる。
- ・スポーツ×ボランティア、参加から参画へ、という目線を通して子供達の活動を広げていけるのではないか。

質疑応答

- ・ボランティア活動の内容は？

→2つ軸がある。ニュースポーツや色々な種目をまず自分たちが楽しんで覚え、その経験を活かして例えば小学生に教えていくなど、自分たちで活動を作っていく。続いて、介護予防の分野で、スポーツを通して高齢者の健康づくりに貢献していく、という軸がある。

#### (5) 追加連絡（事務局）

- ・FC アルコイリスさん、本日大会で参加できず。
- ・川口アスリートクラブ、スポーツ・サンクチュアリ・川口、FC アルコイリスは R7 のモデル事業も実施、また、新郷コミュニティオーケストラの後継として、TIDA 音楽教室（合唱）、かたぎりさやかヴァイオリン教室が事業を実施。

### 4 グループディスカッションテーマ「モデル事業の成果と課題について」

#### (1) A グループ

課題

- ・費用面、従来学校関係は無料に近い、または割安感を求められていた。そのような状況下クラブ活動を持続可能にする費用を確保できるか、市の予算も含めて透明性を確保できるか
- ・施設・場所の確保、これは運営側の課題。施設を使用する際の確実性がないと計画が立てられず持続が不確実になる。場所の確保の確実性が必要。
- ・人材の透明性において、指導者がどういった人物であるかを周知する必要がある。  
達成できそうなこと
- ・市の予算がきちんと確保される、施設の確保が確実であることがわかれば、従来の中学校の活動のように低廉な費用負担の形で達成できるのではないか。

#### (2) B グループ

課題と達成してほしいこと

- ・いま、誰が何を推進してくれているかがわからない。もっと周知が必要。子供達の希望の団体、あるいは活動を展開している団体などの周知がもっと必要。
- ・営利、非営利の差に課題を感じている。
- ・受け入れるチーム、やりたい教員の受け皿なども必要。
- ・保護者の負担、大きくならないか懸念。

- ・モチベーション確保のためにどのようなことをするか。

### (3) C グループ

#### 課題

- ・自分たちも含めた地域での活動について、知ってもらえない機会がない。どんなクラブ、どんな中身があるか、もっとわかりやすいものが必要ではないか。
- ・クラブチームの活動場所、なくて練習ができない。

#### 改善

- ・クラブ活動同士、地域同士、学校と地域でつながって場所などの調整を進めたり情報交換、紹介などを行う仕組みがあるとよいのではないか。

### (4) D グループ

#### 課題と解決案等

- ・KCC（仮）の取り組み、予算、どのように立てていくのか。部活動と地域クラブの共存ができていないところを誰がどう改善するのか。市教委主導？地域クラブ？
- ・今回のような場を設けること、皆さんで情報を共有できる場を作ってほしい。

### (5) E グループ

- ・学校と市教委で今まで以上に協力していく。（教員籍）